
「間質性膀胱炎と膀胱痛症候群に対する治療選択および治療効果の検討：後方視的

観察研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2010 年 1 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日までの間に埼玉医科大学病院泌尿器科を受診し、下記の診断をされて治療を受けた患者さんを対象としております。

- ・間質性膀胱炎
- ・膀胱痛症候群

2. 研究の目的

間質性膀胱炎や膀胱痛症候群において最適な治療法を検討することを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 4 月 30 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテ上の採血・採尿検査結果、画像検査結果。

その他の診療記録（年齢、性別、身長、体重、既往歴、併存疾患、主訴、身体所見、質問票、手術所見などを含む）

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院泌尿器科において、研究責任者である篠島利明が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

間質性膀胱炎や膀胱痛症候群と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 泌尿器科 篠島 利明（研究責任者）、寺西 悠（研究分担者）、朝倉 堯（研究分担者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

5. 試料・情報の提供方法等について

1. 試料・情報の内容に記載している情報を、個人が特定できないように加工した上で、泌尿器科医局が管理するPC上のデータベースに登録します。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 泌尿器科 篠島 利明

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1243（土日祝日を除く 9：00 ～ 17：00）

○研究課題名：間質性膀胱と膀胱痛症候群に対する治療選択および治療効果の検討：後方視的観察研究

○研究責任者：埼玉医科大学病院 泌尿器科 篠島 利明